

世の中にはさまざまなおもしろい音楽があるというごことを伝えたい

中学校の吹奏楽部から
パリの音楽院へ

クラシック音楽のほか、特殊な奏法を用いた現代音楽や、ダンスや映像との融合など、新たな可能性を開拓し続けているサクソフォン奏者・大石将紀さん。生まれは石川県ですが、1歳の頃から大学院生時代までを松戸市で過ごしました。

「新京成は思い出深い電車です。子どもの頃、一人でドキドキしながら切符を握りしめて乗ったりして。新京成を起点に世界を広げていったようなものです」

大石さんのサクソとの出会いは、松戸市立河原塚中学校の吹奏楽部。「やればやるだけみるみる上手くなるのがすごく楽しかった」と当時を振り返



ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、4種類のサクソクスを操るサクソフォン奏者の大石将紀さん。国内外の作曲家が作った曲を演奏する一方、表現方法や奏法を学生に伝える教育活動にも携わっています。そんな大石さんのサクソとの出会いや現代音楽の魅力についてお話を伺いました。

り、その頃からサクソスのめり込んでいったと話します。

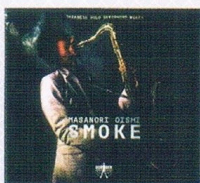
「もともと音楽が好きだったのかもしれませんが、吹奏楽部でお世話になった先生との出会いや、部活の楽しかった経験は今でも生

きています。中学校の終わりの頃から音楽大学に行きたいと言い出したと思うんですが、ダメと言わず、ずっと応援してくれた家族の存在も大きいですね」

音楽大学に行くという

目標を東京藝術大学入学という形で実現した大石さんは、同大学院修士課程修了後、サクソ発祥の地でもある芸術の都・パリへと赴きました。

「サクソスは、ベルギーのアドルフ・サクソという

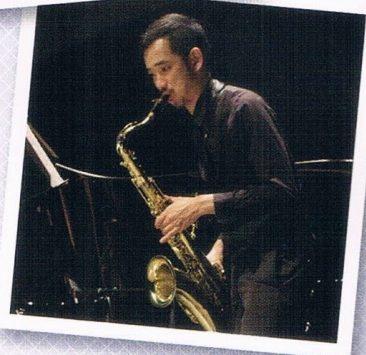


2019年1月発売 2ndソロアルバム
SMOKE
日本の現代音楽を代表する作曲家たちによる無伴奏サクソフォン作品集をお楽しみください。

[プロフィール]

MASANORI OISHI

千葉県松戸市出身。東京藝術大学、同大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院に留学。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。2008年に帰国後は日本国内、ヨーロッパ、アジアなどで演奏活動や教育活動を行っている。2014年所属する現代音楽グループ「東京現音計画」で第13回サントリー芸術財団佐治敬三賞受賞。現在東京藝術大学、洗足学園音楽大学、大阪音楽大学講師として後進の指導にも当たっている。



人がパリにある工房で1840年頃に発明したんです。フランスの音楽とともに発展してきた楽器ということもあって伝統や歴史のある場所ですし、クラシック音楽の中心地でもあるので、とにかく天才みたいな音楽家がゴロゴロいるんですね。すごく刺激を受けましたが、同時に常に劣等感がある…。本当に挫折ばかりで何度もくじかれましたけど、やめようと本気で思ったことはなかったです、そういうのもいい経験でしたね」

サクソフォンの新しい奏法でノイズも楽しむ現代音楽

大石さんは、自身が演奏する現代音楽について、「全員に受け入れられる音

楽ではない」といいます。「それでも、すごく好きだといって聴きにきてくれる人や、全く聴いたことがない音楽だったと喜んでくれる人もいます。世の中にはいろいろな音楽があるということを知ってもらえたらと思っています」

ジャズやポップス、ロックなど、現代にある音楽の影響を受けながらもクラシックの形式や技術を継承しているという現代音楽。大石さんは「音の響きや音色を楽しむ音楽」とも表現します。

「震えるような音や重音、打楽器みたいな音。普通ならうるさいとすら思われてしまいそうな音を、わざと音楽的に使うというのも現代音楽ならではのですね」

本来サクソフォンは一度に一つの音しか出ない楽器ですが、特殊な指づかいにより音を二つ三つ重ねて出すことができる「重音奏法」など、新しい技術を用いた楽曲を大石さんは多数演奏しています。

「サクソフォンは木管楽器と

金管楽器を融合して発明された楽器といわれていて、木管の繊細さと金管の力強さがうまく混ざっている楽器なんです。だから音や響きに、いろんな可能性を秘めているんですね」

現在は邦楽器とサクソフォンドゥで奏する現代音楽にも取り組み、2019年3月には三味線奏者の本條秀慈郎さんとともにコンサートを開催。12月には箏や和太鼓、2020年には笙とのコラボレーションも控えています。

サクソフォン奏者としての活躍の傍ら、大学の講師、小学校や病院での文化芸術交流などの教育活動

にも携わっている大石さん。

「いろいろな音楽がある中で僕が現代音楽に惹かれたように、それぞれが自分の好きなものを見つけて、それぞれが楽しめばいいと思っています。音楽でもスポーツでも、夢中になっ

てまい進できる何かを見つけてもらいたいなと思いますね」

万人受けするものではなくとも、新しい音との出会いや驚きを与えてくれる大石さんの音楽。言葉では到底伝えられない魅力が詰まっているので、ぜひ一度聴いてみていただけたら…。そう願うばかりです。



【コンサート情報】

サクソフォン×邦楽器×現代音楽プロジェクト#2

サクソフォン×和太鼓、箏

■日時：2019年12月11日(水) 18:30開場(18:40より作曲家とのプレトークあり) / 19:00開演

■出演：大石将紀(サクソフォン)、日原史絵(箏)、辻勝(和太鼓)

■会場：品川区立五反田文化センター音楽ホール

■チケット：チケットぴあ、e-plusにて発売中

■問い合わせ：03-6804-7490(オカムラ&カンパニー)



大石将紀さん
直筆サイン入り
CD『SMOKE』を
5名さまにプレゼント

(12ページ参照)

